



とよおか

第 55 号

平成23年10月20日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱

輝

かがやき



中学校輝丘祭運動会

9月定例会



9月定例会の内容	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
決算特別委員会の質疑から	6～7
一般質問	8～14
委員会だより	15
議員の意志表示一覧表	16
最近の議員活動から	17
私の一言・私がんばっています・編集後記	18



この議会だよりは、再生紙を使用しています

22年度の主要事業は？



南小体育館

22年度決算

— 実質収支、過去最高額に —

全ての財政指標値も良好

23年度一般会計も5億8千4百万円余の大型補正

平成23年第3回定例会は、9月6日から27日までの22日間の会期で行われた。

今定例会では、条例案5件、補正予算4件、決算認定7件、人事案件1件、その他議案4件、請願1件、陳情1件を審議し、理事者より提出された案件は全て原案を可決承認した。又、請願は継続審査、陳情は部分採択とした。

**22年度決算実質収支
6億7700万円余**

の中で、毎年議論されているところである。

22年度の主要な事業としては、

○南小体育館改築事業―

2億4011万円

22年度決算は、開会日に決算特別委員会に付託され、さらに総務産建と社会文教の二つの分科会で詳細な審議を行い、延べ6日間にわたる審査の結果、一般会計及び全ての特別会計を承認し、最終日の本会議でも全会一致で認定された。

◎一般会計

歳入総額

44億3992万円

歳出総額

37億4306万円

翌年度への繰越財源が1968万円であるので、実質収支は6億7717万円と村政史上最高額となっている。これは、歳入の約40%を占める地方交付税が前年より約1億4100万円余増額となったことが大きな要因である。

この実質収支額は近年増加の一途をたどっているが、住民要求の実現との関連から決算審議

この事業では、受注希望型一般競争入札を採用し、応札範囲を飯伊に加えて上伊那まで広げたことから、結果的に駒ヶ根市の業者が落札、施工した。大型事業の入札のあり方をどうしていくのか今後の課題である。

○村営住宅：中芝戸建て賃貸住宅建設事業―

1億1567万円

木造2階建5戸(棟)を建築したが、この事業では村内の建築業者が下請けでなく、元請けとして施工可能となるよう、3工区に分けて発注入札をした。予算審議の中で、入居状況を心配する意見もあったが、4戸即入居、残る1戸も本年9月から入居となり、100%の入居率となっている。

○林原多目的広場改修事業

5988万円

この事業は、林原多目的広場内のテニスコートが、冬期間使用不能となること、又他の季節でも降雨後の使用が制限される等、テニス愛好者にとって不評であったことから、全面的な改修が求められていたものである。

議会の予算審議で反対する意見が出され、賛成多数で予算が可決された経過がある。

天候に左右されない人工芝コートに改修され、23年度から供用されているが順調に使われている。

○有線自主放送データ放送システム構築事業

2929万円

この事業は、地上デジタル12chの自主放送で見たい情報を持つことなく見られるもの。

○子育て支援対策

・出産祝金：第1子(3万円)―20人、第2子(5万円)―17人、第3子(25万円)―8人、計45人
11345万円

前年に比べて、4人少なくなっている。第3子が半減していることが影響している。

・保育所運営：保育料の軽減、第3子の軽減・無料化範囲の拡大等は従来通り実施。未満児保育が増加しており、その対応が今後の課題である。

◎国民健康保険特別会計

歳入総額

5億1530万円

歳出総額

5億0265万円

国保から給付された費用総額は、3億3千万円余で前年より4300万円余、11.7%の減少となった。1人当たり医療費は23万4220円で、県下77市町村中低い方から7番目であった。

長期入院患者がいなかったことが原因である。

保険料滞納者に対する資格証発行(保険証の取り上げ)はしていないが、短期保険証が12世帯に発行された。(一ヶ月の短期証が10世帯)但し、子ども(18歳未満)には6ヶ月の短期証としている。

審議の中では、1ヶ月では短すぎる、せめて3ヶ月、6ヶ月にすべきとの意見が出された。

◎介護保険特別会計

歳入総額

7億4527万円

歳出総額

7億4406万円

高齢化の進展により、要介護認定者も増加しており、介護保険特別会計の決算規模も年々拡大している。(対前年)

年度末時点での認定者は370人で、65歳以上人口に占める割合は18.18%となった。施設介護給付費の伸びが居宅介護給付費の伸びを上回っている現実は、施設等基盤整備の遅れをより深刻なものとしている。

◎簡易水道特別会計

歳入総額

1億6475万円

歳出総額

1億3293万円

村営水道の普及率は、99.1%と高い水準を維持している。

年間使用水量は横ばい、有収率(配水量に対する給水量の割合)は77%

と昨年よりやや改善したが、堀越長沢簡水は49.9%と極めて低く、管路の改修が必要である。

◎下水道事業特別会計

歳入総額

3億4681万円

歳出総額

3億3398万円

普及率は、97.3%で前年より0.8%低下した。22年度の大規模改修工事では、供用開始が最も早かった伴野地区農集排の機能強化事業(2ヶ年継続)が実施された。



変貌が予想される、たむらんど

23年度一般会計 補正予算

補正額

5億8418万円

総額

38億5285万円

歳入財源の約60%は前年度からの繰越金、その他に地方交付税、村債が主なものである。

歳出では、予備費2億8513万円と減債基金積立1億円、その他主なものは、

○八王子地区の村道改良(8830万円)：一貫道路交差点

より西へ(天竜川方面)150坪、東側の改良部分と同じ規格で延長する。

○加工組合の店舗を兼ねる施設を増設：旧ルーラル店周辺の空き店舗を村が購入し、加工組合が店舗を兼ねた第2加工場として活用するもの。購入費と内部改修費等で1494万円

○生ごみ収集庫の設置費639万円：村内の生ごみ収集置場の全91ヶ所に金属製の収納庫を設置する。設置場所が確保できた個所から順次設置していく。

損害賠償の額の決定についての議案を可決

今定例会では、多くの市町村と同様本村でも損害賠償額を議決する議案が提出された。これは、地方自治法によって地方公共団体が損害賠償の義務を負った場合、その額を決定するためには議会の議決が必要と定められていることによるものである。

今回、村道での落石による車両損傷等5件の賠償金102万6309円が上程され、議決された。

すごみ保管庫など予算化

燃やすごみ収集庫の仕様は

Ⅱステンレス製で使い良いⅡ

片桐(秀)議員 佐原地区で購入予定の除雪機はどんな機械か
総務課長 小型なもので、約50センチ幅を除雪し、燃料はガスボンベ式。価格は一台50万円。実際に使ってみて効果あれば全村的に普及したい。

前沢議員他 燃やすごみ収集庫の仕様や設置場所は。

環境課長 新村長の判断ですべての収集庫について新しくする。材質はステンレスと網で、上部は蓋がつき観音開きとなる。奥行きは50センチ・高さは85センチ・幅は1メートルから。大きさは、収集実績により8種類から決める。設置場所は現在地を原則とするが、道路上や歩道とは避ける。現在、自治会長さんに設置場所等について意向調査を行っている。総予算は603万円。

唐澤議員 中央保育所の未満児保育のための職員は嘱託を考えているようだが、未満児保育の需要は増すばかり。嘱託でなく正規職員を採用すべきだ。

村長 同じ意見だ。今回は緊急の措置。正規職員間の年齢差も

あり、長いスパンで考えたい。保育所が親や住民のニーズに応えられるようにしたい。

農産物加工組合の新施設は

Ⅱ農家レストラン風にするⅡ

原議員他 今回、計画した加工所の概要について説明を。

産業建設課長 北側にある休業中の居酒屋を購入して加工所の総菜と菓子部門を始めたい。

又、新たに食事が提供できる農家レストラン風のスペースもとりたい。事業費は改修費を含め約1500万円。

川野議員 加工所の組合員は95名とのことだが、皆、農業をやっているから多忙ではないか。

又、年々年をとっていくが今後の経営見通しはどうか。

産業建設課長 今は、だいちに所属している地域おこし協力隊員を中心にやってみよう予定。又この機会に新しい組合員も募集したい。

吉川議員 現在はみなし法人となっていて、責任体制が不明確。NPO法人などの法人化にすべきだ。又、建物所有者は税金が滞納になっているというが回収できるのか。

村長 滞納分はこの機会に回収したい。加工所は、原料の農産物を購入しており約2000万円の借金も支払い、地域貢献している。環境面からもご理解願いたい。

井原議員 食堂コーナーは約10畳だが手狭だ。トイレも狭い。厨房も機械の配置図を描き、き

ちんとシミュレーションをするべきだ。

産業建設課長 この図面は補助金申請用。実施にあたって詳細図面をつくり精査する。

酒井議員 私はこの案に賛成。昼間のランチとコーヒータイム・夜のディナーと居酒屋などで、1500万円の投資は高くない



佐原地区で導入予定の除雪機

＝予算特別委員会の質疑から＝ 竜東一貫道路先線・燃や

と思う。
原議員 農業の新しい施策である「農地リフレッシュ支援金事業」の内容は、産業建設課長 主に広域農道の下段で遊休果樹園が対象。認定農業者などが木株の抜根や柵の撤去する費用などに補助金額は費用の3分の1で上限が10万円。

一貫道先線着手の狙いは？

＝企業誘致・架橋共自信ある＝

松村予算委員長 竜東一貫道路先線に関する道路改良の説明を。産業建設課長 河野八王子の旧酒井医療南の交差点から天竜川に向け150mの改良工事。規格は北小下からの道路と同じ。総費用は約8800万円。工期は、水路があるため12月から3月の冬場に施工する。片桐(秀)議員 予定している企業は来る見通しはあるのか。産業建設課長 確実に来ると断言はできないが、その方向で努力してもらっている。唐澤議員 今、これをやることで企業誘致と天竜川架橋にとってプラスになるのか。村長 今回の決断にふさわしい

情報がある。リニア飯田駅併設のような事態には絶対にしてない。二つの課題解決に自信がある。松下議員 天竜川架橋問題について現状はどうなっているか。下平議長 昨日、北部正副議長会で出県し土木部長に会った。交通量調査は終了し、10月に第3回の検討委員会をする。各町村とも調整し、今年度中には結



新たに設置される燃やすごみ収集庫

論を出す予定。財政状況が厳しく通常の維持管理主体となり、新規事業は大変厳しいとの見解であった。

再検討の上、

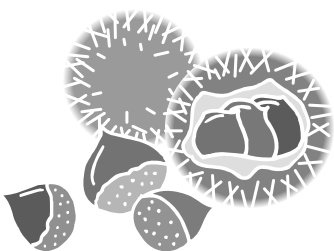
議会に諮り実施を

＝セミナー棟二重サッシ化で＝

吉川議員 東洋大セミナー棟の防音用2重サッシ工事費660万円は、高額である上、効果あるのか。

教委事務局長 バンド練習にはよい場所。建物は八角形の特殊建物で、2重サッシ化でそこそこは使える。

松村予算委員長 単なる2重サッシ化でなく雨漏り防止など相対的に施行して欲しい。工法をよく検討した上、議会に諮って実施を。



繰越金が6億7千万円余につけ節度ある実行を》

青少年地区育成会を活発に

Ⅱ 成果が上がるよう検討するⅡ

大原議員 定住促進事業で22年度の実績はどうだったか。
総務課長 三軒の整備をしてすべて入居済み。借手希望はあるが貸手が少ない状況。



荒廃空き家整備事業で改装なった住宅

前沢議員 福祉委員の報酬は年額いくらか。
住民課長 県からの交付金を含め約19万円から23万円。役職により差がある。報酬審議会の答申があり改定した。
松村議員 青少年地区育成会の助成金は、26団体で総額48万円だが安いのではないか。活動を活発化してもらい金額を増額するべきだ。

AED講習会を自治会等で

井原議員 AED(体外式除細動器)の配備状況は。
総務課長 村の公共施設に10台、防災会所に4台の計14台を配備。必要があれば今後も考えたい。
松村議員 設置しても、必要な時に使えるよう日頃から講習会や訓練をしっかりとやるべき。

住民課長 活動内容はお任せである。今後はしっかりと検討して充実を図りたい。

総務課長 ご指摘のとおり。今後も、自主防災組織等で実施できるよう考えたい。
片桐(眞)議員 河野児童クラブは改修したが地震は大丈夫か。又、賃借料は。

住民課長 JA河野支所2階を約400万円で改修した。耐震補強は今後の課題。賃借料は年額60万円。

環境パトロールで安否確認等高齢者支援もやっている

井原議員 環境パトロールは2

名いるが、どんな業務か。

環境課長 高齢者の安否確認を兼ねごみ収集もやっている。高齢者世帯も増加傾向で、対象者や巡回頻度等さらに検討したい。
片桐(義)議員 都会のごみ分別指導は緩いが村部は厳しい。矛盾を感じる。特に高齢者は分別作業が大変だ。
唐澤議員 地球温暖化の中で焼却は防ぐべきだ。一方、細かく分別しても上に行つて一緒では意味がない。よく検討を。

井原議員 へい獣基地下流長沢川の水质調査をやっているか。埋設物等からやるべきでは。
環境課長 やっていない。今後は検査項目を増やして検討する。

原議員 有害鳥獣駆除の保険料対象者数は何人か。
産業建設課長 わなや鉄砲の免許がある人で現在は36名。

中芝賃貸住宅は1戸約2450万円の建設費

唐澤議員 げんき農業補助金は14名が受けたが何か問題点はあったか。
産業建設課長 新たに創設した事業で好評であった。柿むき機で中古改良したものや中古のS

中古改良したものや中古のS

＝決算特別委員会の質疑から＝ 《公約実現に優先順位を》

Sも使用年数から対象にした。原議員 認定農業者の現状は。産業建設課長 現在は51名。期間は5年なので20名が更新した。新規も数人いる。

井原議員 中芝の戸建賃貸住宅の建設概要は。

総務課長 5棟建設し、総事業費は1億2240万円で一戸当たり2480万円。規模は小さくなったが総費用は従来と差はなかった。9月に1戸が入居された。

冬の除雪作業は 村内すべての建設 業者が実施

唐澤議員 幹線道路の除雪に当たる業者の状況はどうだったか。産業建設課長 早朝の塩カル散布は建設業2社で、除雪作業は13の全業者で実施してもらった。毎年11月に除雪会議を開き計画を立ててもらおう。

大原議員 非常用備蓄食の賞味期限切れはどうしているか。

総務課長 防災訓練等で食べてもらっている。アルファ米。

吉川議員 ペットボトルの保管方法は。

総務課長 各自治会の会所に。断水時はトイレ用にも利用を。

井原議員 消防の機材箱に筒先が不具合なものがあるが。

総務課長 気が付いたら村へ連絡して欲しい。

松村議員 スポーツ館西側の土留工事は、再崩落でムダになったが…。

教委事務局長 原因の特定はできていないが湧水等で地質が軟弱だ。地質調査をやりきちんと対応したい。

村税の徴収率は 0.2%下がるが 県下では上位 7番目

前沢議員 村税等の滞納状況と差押えは。

税務会計課長 滞納額は村税では790万円、徴収率は98.7%で県下7番目。延べ滞納件数は約100件。差押えは給与が1件、預金が3件実施した。唐澤議員 生活費まで差押えをしないように配慮を。税務会計課長 十分留意し適正に行っている。

繰越金は、貯める だけでなく住民福 祉のため有効に使 いたい

川野決算委員長 6億円余の繰越金は異常な金額。これは国の経済対策のお陰。村長公約に大型事業があるが、優先順位をつけ節度ある実行を。

村長 小規模特養・文化施設・火葬場は、極力補助金を得て、残りは有効な起債と基金も有利に使っていききたい。

松下議員 特定健診の受診率が

53.6%と低い対策は。住民課長 平成24年度に65%未満だとペナルティーがつく。ヘルスを年2回やるなど効果的な対策を考えたい。

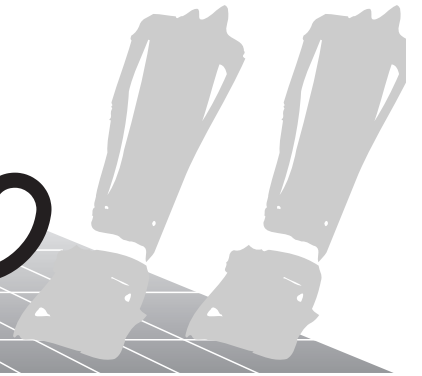
片桐(秀)議員 介護予防対策が十分でない。重症化の原因になっている。抜本対策を。

住民課長 近隣の状況も参考にしっかりと検討したい。



すべて入居済となった中芝の戸建て賃貸住宅

しつもん



質 介護の重症化どうする 答 次期介護保険計画で

片 桐 秀 人

北部5町村の介護保険関係のワーキンググループが作成した平成21年度の現況分析の資料から、いくつかの質問を行い、今年度作成する介護保険計画作成の際充分検討を深められ、よりよい高齢者福祉になるよう質問した。

質問 出現率（介護認定者）と、重症化率が、北部5町村で一番悪い状態であることについて、どう思われるか。
村長 指摘された点は間違いない。

住民課長 最近極端に重症化が進んできた。

質問 これらの問題は特養を作ることで改善が図れるか。

住民課長 特養は重症化が進んでしまった方達のためのもので、出現率や重症化を抑えることが重要である。

質問 特養以外にどのような施策を考えているか具体的に。

住民課長 地域の方々の参加を得ていく対策が肝要と思っている。

質問 議員の勉強会で喬木、松川、大鹿を訪問して、介護予防の違いを知ることができた。特にヘルパー派

遣や、配食サービスに違いがある。又、オムツ代補助や介護慰労金が、介護予防費用の中で支出されていて本来の目的が果たされていないと思うが。
村長 村長に就任したばかりで、詳しい状況把握をしていない。
住民課長 ご指摘の部分は、次期介護保険計画の中で、将来あるべき姿について皆様の意見を聞いて立てたいと考えている。



原村地域密着型特養施設を視察

議会活動報告

7月～9月

◎ 7月

天竜川河川清掃
新人議員研修

議会だより編集委員会

社会文教委員会

例月監査・随時監査

高齢者問題研究会

議会だより編集委員会

定例全員協議会

教育懇談会

臨時議会・全員協議会

総務産建委員会

議員研修

北部ブロック議員研修会

◎ 8月

県議会監査及び役員会

新人議員勉強会

例月監査

林業活性化促進議員連盟総会

決算監査（8月31日まで）

下伊那郡町村議会議長会

定例全員協議会

社会文教委員会

北部正副議長・事務局会議

総務産建委員会

監査委員研修会

議会運営委員会

高齢者問題研究会

議会運営委員会

30日

29日

26日

25日

22日

19日

9日

5日

3日

25日

22日

19日

9日

5日

3日

◎ 8月

28日

25日

20日

19日

15日

14日

11日

8日

7日

4日

3日

◎ 7月

質 一般職公務員の給料削減は！

答 人事院勧告を尊重

吉 川 明 博

質問 一般職公務員（役場職員）の給料削減について、6月議会以降に職員の皆さんと、給料削減について話す機会がありましたか。

村長 職員組合の幹部との会見を二度しました。10月の人事院勧告人勸を尊重し、進めます。

一般職員に対する給与削減については一つの施策として、「とよおかまつり」で全職員がボランティア（無給、これまで休日出勤）で2日間は参加していただけないかと要請し、返事待ちです。

質問 歳出の削減策、民間の感覚、視点での歳出を抑えるための調査検討等をされたか。

村長 独自の調査は行いが、これから先に有る行政評価委員会の答申を待ち調査検討等を行う。P計画、D実施、C評価、A改善を行い、問題点を探り効果的な施策を行う。政策は新しい活用方法を創造する。

質問 リニア中央新幹線についてこの地域が取り組むべき事業課題等の考えを聞きたい。



リニアイメージ写真（方法書のあらしし〈長野県〉より引用）

村長 この機会を充分生かし、将来に向けて国内外にアピールするために、豊丘村の新しいパンフレットを作る。村民の皆様と共に、これからのリニア中央新幹線の課題を探り善処する。

質 来春予定の新規採用について

答 採用は村内中心に

大 原 千 賀 子

質問 来春には4人退職予定で、新規採用は若干名と聞くが4人以内と言うことか。希望者は大勢あると思うが、採用基準や村内外か、お聞きしたい。

月末の集金時間延長と対策

質問 月末の延長時間は何時までか。何人に対応か。利用者は何人位か。

質問 税金の前年比と滞納額はどうか。僅かの人数の為に税務係が時間延長し、超勤手当等を払うより宿直者が対応できないか。

質問 滞納額は775万円、21年度より0.2ポイント下がっている。税務職員は「徴税吏員」の証明書を受けて税金を扱っているの、宿直者が預かることは難しい。

質問 収納率を上げる対策はどんな事をしているのか。月末は税務係が宿直するのはどうか。

税務会計課長 毎月27日が口座振替で、落ちない方は翌月の7日前後にもう一度振替。督促状や訪問で対策している。宿直当番表は総務で作っている。要望 総務課での対応を検討願いたい。

地デジのその後の様子
質問 地デジ化後2ヶ月になるが当初の状況と対応はどうか。

総務課長 当初1日10件程度、トータル200件、リモコンの説明等に対応し、今のところは特段の相談もない。STBがついているので、従来のものも順調に見られる。



税務係の夜間収納日は夜7時半まで。

**質 胃がん予防にピロリ菌検査を
答 色々な形で抑制にとりくむ**

片 桐 眞理子

質問 がんを防ぐ決定的な方法はない。検診で早期発見することが重要である。予防の取り組み状況、発生状況について伺う。また、検診後の指導が大事であると思うが。

住民課長 1次予防として食生活の指導、予防接種があり2次予防としての早期発見がある。村でも取り入れ予防に努めている。22年度は発見者ゼロであるが、発見された場合は、個別に対応をしている。

質問 最近の研究で胃がんの発がん因子はピロリ菌であるという事がわかってきた。検査もバリウムを飲むのと比べ血液を採るだけなので受診率向上のためにも優れていると思う。ピロリ菌検査を取り入れる事についての考えを伺う。
村長 早期発見は村民の命を守るため重要と考えている。色々な形で抑制にとりくむ。

中学生の職場体験の

とりくみ

質問 キャリア教育の一貫として行っている職場体験は勤労観や職業観、異世代間のコミュニケーションを学ぶなど働く事の目的意識も高まり有



真剣に取り組む中学生

効な手段であると思う。村でのとりくみについて伺う。
教育長 職場体験は、特に中学2年生の総合学習で、下伊那全域を受け入れ先として行っている。村では、農業体験、福祉体験も意義あることと考え実施している。今後も学年の発達段階に応じて生きる力を養うため取りくんできく。

**質 工事発注の落札率は何故高いか
答 業者の見積り額精度が高くなっている**

原 健 治

質問 工事の入札から発注に至る過程はどのように実施されているか。

総務課長 工事担当課がそれぞれ設計を組む。「入札指名業者」は設計額に応じて、村の等級発注基準により業者が決められる。具体的な業者への発注は、副村長を委員長とする業者選定会議により、入札指名業者を決定する。業者から出された、入札参加資格者届により、登載された方から業者選定をするという手順で発注が行われる。

質問 工事発注の落札率は高い比率となっていることの説明を。
総務課長 落札率は村長が定める落札予定価格で、決定落札額を割った数値で予定価格を下回らないと落札にならない。業者の見積額の精度が非常に高いことから、落札率が100%と近い率となっている。



業者選定会議（入札）

要望 村長が狙った金額より、さらに下げていく努力をぜひ副村長にはお願いしたい。

リニア新幹線を

プラス面で活かそう

質問 トンネルが突き抜けることが明

白となった。違った面で村づくり、地域づくりが必要。どのような取り組みを考えているか。

村長 リニアの駅が飯田に出来る。リニアを使った村の宣伝を日本、世界に発信したい。都会からの誘客。首都圏機能、病院介護施設等々の誘致も考えられる。さまざまな角度から、良い村おこし、地域おこしをしたい。

質 民設民営なら検討委員会不要

答 転ばぬ先の杖でいく

松下 亨

質問 公約のとおり小規模特養を建設するための建設研究委員会を立ち上げ、検討の真つ只中である。しかし、事務局の準備期間がなかったためか、議論が右往左往の感が否めない。すなわち、当初から民設民営でないと建設できないことが明白となっていたではないか。となると建設研究委員会は設置する必要がなかったのではないか。不要な研究委員会を設置したことになる。

村長 選挙公約を検討する中で豊丘村では地域密着型小規模特養が良いとの結論となった。

当初は公設民営としたが、地方事務所の助言を受け担当職員と勉強する中で「公設民営は無理」が分かった。転ばぬ先の杖という言葉どおり、将来に起こる問題について検討を深めたい。

リニア新幹線についての課題

質問 リニア新幹線の課題に着手を

村長 方法書の縦覧後にゆつくりと

大鹿村の宅老所「まめ大福」

質問 懸案の県内駅の位置問題も決着し2027年開業に向けて動き始めた。今後は、開通を見据えた村づくりや土地の乱開発・全国的に問題になっている水資源の保全など課題が山積。早期にこれら諸課題に取り組むべきだが。

村長 検討組織は、JR東海の方法書の説明会后にゆつくり立ち上げれば遅いことはない。土地の乱開発や水問題は、広域連合の中で対応していけばと考えられている。



質 子どもの体力づくり環境の充実策は

答 ソフト、ハード面から充実を図る

酒井 浩文

質問 よく動く子は健康な大人になると考えれば、子どもの時代に活動性を獲得し、それを持ち越すことは生涯の健康づくりにつながる。村の将来を担う子どもたちの、遊びや運動環境充実の構想はあるか。

村長 生涯にわたる運動の習慣化のため、子ども世代の外遊び環境の充実を図りたい。校庭や園庭の芝生化も一つの手段と考える。

住民課長 親子運動教室など家庭を単位とした環境の充実、児童クラブなど

での積極的な外遊びの充実を考えている。

質問 子どもたちの体力低下が社会問題となっているが、豊丘村の子どもたちの現状はどうか。

教育長 体力テストの結果から県全体でも低下傾向にある。小学校低学年は全国平均を上回るが、学年が進むにつれ低下が進んでいる。特に長野県の女子中高生は全国最下位である。村内小中学校もほぼ県と同じ傾向を表している。

質問 学校での運動や遊び時間の確保等、今後の対策は。

教育長 体力向上の意識を醸成し、自発的に運動量を増やす環境整備を行う。小学校は外遊びの充実、中学校は体育学習、部活動、クラスマッチの充実を考えている。

質問 校庭・園庭の芝生化をどう考えるか。

教育長 環境面、安全面でも有効で、子どもたちが積極的に屋外で活動できるようにすれば、体力向上も期待でき大きなメリットがある。村長の村政方針でもあり進めていく価値がある。

保育所長 芝生化した保育園でも好評だが、管理面等の問題を検証しながら前向きに考えたい。



がんばれ未来の主役たち

質 病児保育の取り組みを

答 様子を見て検討する

前 沢 光 昭

質問 2013年に導入される子ども子育て新システムは保育所と保護者の直接契約になるが公的責任はどうなのか。保育所の保育士が現在全部で27名中8名しかいない。現在未満児44名で保育士はますます必要となるが今後の採用は。待遇改善はどうする。

子どもが病気の時の「病児保育」や「病後児保育」が広域行政で飯田の健和会で行っているが、要望が大きいにもかかわらず、郡部は遠方のため利用し

にくい。北部の町村で協力して出来ないか。

村長 豊丘の場合、村立保育園とすることで、子ども達が公平なサービスを受けられるよう全力を尽くす。職員の方体について、今のままが良いとは思っていない。しっかりと相談する中で考えて行く。

住民課長 病児保育は始めてまだ一年。北部でやるとなると小児科のある病院が適地と思うが今のところは様子見で検討していきたい。

自然エネルギーへの
転換について

質問 自然エネルギーへの転換の障害になっっているものは何だと思ふか。須坂市では「滝用水車」と呼ばれる小型の設備を使い普及をはかっているが、豊丘村でも補助制度等考えないか。

村長 一番の障害は効率の悪さだと思う。必要な時に必要なエネルギーが取れない事だと思う。

産業建設課長 松川でも水車型を準備しているが水利権で苦慮している。大きな効果を期待するには数億円規模必要。小型で費用対効果で考えると当面むずかしい。



須坂市の滝用水車

質 特産の松茸をどの様に守るか

答 森林法と監視員に監視強化

井 原 康 明

質問 毎年耳にする内容ですが、村有林での無鑑札者や他町村からの入山者が多く、ゴミの投棄も目立ち健全な茸山として維持するには好ましくない状況であり、この様な状況をどの様に考えるか。

村長 各地区から推薦された監視員と、今年も駐在さんの力を借りて、入口チェックを検討している。ゴミの問題については、特に入山者を中心に、村民全体でゴミを拾ったりあまり山を荒らさない様に周知徹底を図る中で守っていく。

質問 監視員にお願いするとありますが、監視員だけでは十分な管理は不可能と思われる。ゴミも入山券を発行する時やシーズン前に強力的に指導を行う必要があることを要望する。

監視員について、各区長推薦と
人数削減の目的は

質問 監視員の選任は産業建設課の業務と理解しているが、地区推薦にしたことや、山の健全性が失われるなかな数削減の目的はなにか。

総務産建課長 村有林の入札や区有林の入札も同時に行っているし、区の方々の様な状況から区長推薦とした。人数は七区ですので、7名。

茸山についての、条例化が必要では

質問 健全な茸山や特産の松茸を守るには、ある程度の管理強化が必要であり、条例化も必要ではないか。

村長 今のところは森林法の罰則があれば、考える必要と思う。

質問 シーズン前後に監視指導についての、打合せや、反省会の取り組みは実施しているか。

総務産建課長 今シーズンも実施しており、終了時にも反省会を行い、色々な意見を賜り、次年度に向けていきたい。

質問 監視員についても、事故や被害の無いよう村としても関与し、より健全な茸山となるように条例化についても前向きに検討願いたい。



特産品の「松茸」

質 介護保険事業の一層の充実を

答 従来の支援施策は継続していく

唐 澤 啓 六

質問 第5期介護保険事業の基本方向は、地域包括ケアシステム構想である。同構想が目指している地域の中で住まい、介護、医療が切れ目なく保障される体制づくりは、すべての住民の願いである。しかし、政府はこの住民の願いを逆手にとつて、安上がりな公費抑制、効率化システムとして作り上げようとしている。①地域包括ケアに対す

る見解は。②介護予防日常生活支援総合事業は、要支援者へのサービスを、従来の介護予防サービスから切り離し、この事業に移し替えるものである。総合事業への取り組みは市町村に委ねられているが、当村としての方針はどうか。③保険料の抑制対策は④利用料への村独自の助成対策の一層の充実が必要と考えるが。

村長 ①在宅支援の一層の充実を目指し、要介護者や介護者のニーズに応じて必要な地域包括ケア体制を検討し構築していく。②介護予防施策としての効果を検討する中で、必要とされる新しい事業の展開を検討したい。③介護給付費の増加に比例して保険料が増えることになるので、要介護者にならない対策、重度にならないことが保険料抑制対策の一つと考える。④村独自の対策は、23年度までの時限措置であるが次期も継続していく。(この他に、入札制度の改善とリニア中央新幹線についての質問をしましたが、紙面がたりないので割愛します。)



「はつらつ」の大運動会

県知事、県議会への要望活動から

北部5町村議会が

県知事と県議会へ要望

下伊那北部ブロック町村議会では、9月21日に出県し県知事、県議会への要望、陳情を行いました。

これに先立ち、7月28日に北部5町村の全議員が一堂に会し、当面する課題について検討、協議し12項目の要望事項を決定し、5町村の正副議長で県庁へ出向いて要望活動を行いました。

要望項目は、医療、子育て、教育、環境、防災、道路問題等多岐にわたるものです。



阿部知事へ要望

当日は、県会の開会日(午後1時)ということもあり、午前中に知事及び建設部長、県教委へ要請し、午後1時から県議会を傍聴した後、正副議長と常任委員長に陳情を行いました。尚、吉川、高橋両県議が同行されて助言をしていただきました。



建設部長へ要望



委員会だより

総務 建産

「豊丘村発注工事について の陳情」は意見を 付しての部分採択

総務建産委員長 松村正三

今定例会において、総務建産委員会に付託された「豊丘村発注工事についての陳情」は、小本曾建設株式会社代表取締役小本曾啓人さん、神稲建設株式会社代表取締役

社代表取締役 役福澤栄夫



村発注工事現場

税義務を果たし、雇用の場を確保しながら真摯な経営を続けている地元企業が、最優先で受注できる手法を考慮願いたい。

②ランク付けによる制限価格制度の下限に限り、撤廃をお願いしたい。

③総務省及び国土交通省通知の建設業における「安心実現のための緊急総合対策」の中に、いわゆる足切りによる予定価格の不当な切り下げを慎む事、とありますので留意願いたい。とするもので、委員会として

は「陳情書」の文面だけでは測り切れない部分があることから、改めて4社の代表者の出席を求め意見を聞くとともに、等級別発注標準に基づく「C」ランク以下の村内8社の代表者の出席を求め、それぞれの意見をお聞きした。

②について委員会として意見を付すこととした。

社会 教文

『5時間の耐糖能検査に 保険適用を』継続審査に

社会文教委員長 川野孝子

「機能性低血糖症に係わる国の取り組みを求める請願書」が食と心身の健康を考える会の会員今村正弘さんより提出されました。

社会文教委員会ではこの請願の主旨を先ず理解する所から始めました。専門的な医学用語も多く、「機能性低血糖症」がどう

の医師にも現状や意見を聞く中で判断の材料のひとつとさせていただきました。

う形で、頸部の検査を行っている

ます。又、40才から74才までを対象とした国保の特定検診の2次検診をやっています。これらについては科学的根拠（エビデンス）が明確になっていると言われています。

人間の血糖値が下がってくる

そのための5時間の耐糖能検査が必要となりますが、現在この検査を行っている医療機関は全国でも数える程しか無いのが実態です。この請願の主旨は①として5時間の耐糖能検査を保険適用とすること。②として各都道府県に診断、治療のできる医師、医療機関の確保をすること等があげられています。

社会文教委員会では、もう少し時間をかけこの問題について専門家の話を聞いたり資料の検討を重ねる必要があると判断し、全員一致で継続審査と致しました。

今後12月の定例議会までに更に検討を重ね、結論をだしていきたいと考えています。

議員の意志表示一覧表

<平成23年 第3回定例会>

件名	審議結果	酒井	吉川	松下	井原	大原	片桐	原	松村	片桐	川野	片桐	前沢	唐澤
		浩文	明博	亨	康明	千賀子	義憲	健治	正三	眞理子	孝子	秀人	光昭	啓六
条 例	村税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村消防団の設置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村消防団条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村総合福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○
予 算	平成23年度豊丘村一般会計補正予算第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度豊丘村介護保険特別会計補正予算第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度豊丘村簡易水道特別会計補正予算第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度豊丘村下水道事業特別会計補正予算第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定	平成22年度豊丘村一般会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村老人保険医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村簡易水道特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度豊丘村下水道事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告	財政健全化判断比率等の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同 意	教育委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願	機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 情	豊丘村発注工事についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	南信州広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度堀越長沢簡易水道施設送配水管布設替工事(堀越地区)工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・賛成 ▼・・・反対



福祉センターの別館となった旧東洋大セミナー棟



消防団詰所となった旧テニスコート管理棟

最近の議員活動から

【高齢者福祉を考える第2弾】

喬木村「宅老所ふれ愛」視察

5月21日の施設「プラムの里」の訪問に続いて、第2回目の施設訪問として、喬木村の地域支援事業の状況と「宅老所ふれ愛」の視察を7月11日に多くの議員が参加して実施された。始めに喬木村役場福祉センターにて福祉課の担当者から地域支援事業に関する一連の説明を受けた。地区毎に行われ地区からのボランティアと社協の協力で多彩な活動計画が立てられ、多くの方に利用されている説明と報告があった。この様な活動には、課題もあり、ボランティアの理解と認識が重要とも話された。

福祉センターでの説明後、場所を阿島地区の宅老所に移し、施設の訪問と説明を受けた。「宅老所ふれ愛」は、ある村民の方からの寄贈で改修を加え、使い易い施設になっていた。木造二階建て、



喬木村社協宅老所「ふれ愛」

域支援事業では、介護予防事業・包括的支援事業・任意事業・村単独事業・村県補助事業などについて詳細な説明を受け幅広い事業目的や実績の多さに感心する内容も伺えた。給付金を上手に使い、多彩な事業計画、地域の協力、個人負担の軽減、より多くの方の支援などを受けられる様子が伺えた。又、ミニデイサービス、グループ活動も各地

談話室、ホール、仮眠室、風呂、トイレ、台所、廊下、中庭、野菜畑など完備されている。運営内容を喬木村社協の宮島主任からお伺いした。定員は10名で通所介護を行っている職員は午前中3人、午後4人の体制で取り組んでいるとの事。宅老所での、食事・お茶会・お話・手芸等色々な企画をされて、利用者さんに大変喜ばれているとのことでした。又、野菜

畑もあるので野菜づくりをした人は誰でも畑いじりが出来るようになっていました。今回の訪問で感じた事は、少しでも体を動かし、頭を使い、美味しく食べて、みんなと話をするなど、出来るだけ要介護にならないような「予防」に向けた取り組みが重要視されている事を学んできました。今回の施設訪問は松川町と大鹿村の宅老所「まめ大福」を予定しています。

大鹿村「宅老所まめ大福」視察

大鹿村大河原に「あんじゃネット」と言う名のNPOが運営している宅老所「まめ大福」がある。大鹿村にあんじゃねえ(心配ない、大丈夫)の声をあげたいと、平成19年に開設された地域密着型デイサービスで利用定員は10人で、要支援1〜2、要介護1〜2を対象としているが、元気な高齢者も障害者も利用している。住み慣れた地域でいつまでもまめ(丈夫)で暮らしていくことを目指している。このNPOは東京や名古屋などの都会から大鹿村に移り住んだ女性の人が立ち上げた。

高齢化や過疎化が進む大鹿村は、都会の人間関係の冷たさ暮らし難さと逆に、過疎である故に他人をよく知り、互いに支え合おうとする精神が残っている。安心して最後まで暮らし続けられることと中高年の人達の就労の場づくりを目指している。空き家を譲り受け、借金をして建て増しをし、現在10名の人が働いてい

る。ほかにも配食サービス、児童の預かり、過疎地有償運送もやっている。まめ大福の利用者はみんなで野菜をつくり、花をつくり、洗たくも炊事の片付けもする「昼間の家族」である。今まで生きてきた生活を継続し、共に地域で生活して来た人達とあたり前の生活を続けられる中に、介護予防があることを教えられた。豊丘村にも是非欲しい施設である。



大鹿村「宅老所まめ大福」

シリーズ「私、がんばっています」

小園 菅 沼 友 子 さん

豊丘村の高齢化率は22年末時点で29・2%と高齢者が約3割を占める。今回は90歳を過ぎてなお元気な日々を過ごす、小園の菅沼友子さんを訪ねた。

菅沼さんは大正9年生まれ、91歳。三姉妹の次女として河野市の沢で生まれた。小学生時代には河野学校第1号の健康優良児として表彰され、かけっこが速く、水泳やスケートも得意な、



私の一言

都会人のなかには田舎でのんびり暮らしたいと思う人がけっこういる。しかし、それを実行したもののうまくいった人ばかりではない。その理由として経済的な問題、家族の協力を得られない、煩わしいつきあいに耐えられなかったとか、いろいろのようだ。田舎で暮らすということとは自由で、呑気で、楽しいばかりではな

田舎暮らしは気楽ですか？

中 芝 市 瀬

隣近所との付き合いがほとんど無くなくてしまった都会の人が田舎に移り住んで、豊かな自然の中で誰にも気兼ねなく、自分の思うままに暮らしたいと考えることについては十分理解できる。しかし、自給自足で仙人のような暮らしをするのならば、普通生活の向上は行政が全面的に担うべきではあるが、多くの人が世のため、人のために役立ちたいと思っている。特に若者、女性の柔軟な発想と行動力を地域のために生かして欲しい。

子どもが学んでいた。終戦後、先の見えない逃避行が始まった。38度線を越えるまでの道のりは、生きることだけを考えた。死と隣り合わせの中、連日5里(約20キロ)を歩き、38度線を越えた後も、ロシア兵やアメリカ兵から身を隠して逃げ続け、25歳の時、苦難の末帰国した。すでに死亡したと思っていた夫は再婚。その後、三重県四日市市で就職し6年間を過ごした。縁あって菅沼家に嫁ぎ、夫と共に米、麦、養蚕を主体とした農業を営

んだ。穏やかな生活の間には、三六災害や、農地改革、減反政策などを経験した。婦人会や消費者の会、ボランティアの会で活躍し、今は当時の仲間と会って話をしたり、毎週1回の体操教室、月2回はつらつデイサービス、月1回の公民館学習会への参加が何よりの楽しみと語る。また、元気の秘訣は、何でも興味を持って外に出かけること、大勢の人と話をすること、体を動かすことだという。菅沼さんの話を聞きながら、曾野綾子著「老いの才覚」の序文を思い出した。

『日本の将来に対しても、自律した老人になるためには、老いの才覚＝老いる力を持つことが重要なのである』まさにこうした才覚を持った豊丘村の高齢者こそ、私たち村民の励みであり誇りである。



編集後記

▼心配された台風12号の影響も村内においては大きな被害もなく、ひと安心。台風の通過と共に残暑厳しい日が続くルートのについて、JR側との協議が進み、より具体化してきた。当村を通過する事に間違いは無く、天竜川右岸への郊外型駅がほぼ確定となり豊丘村も今後色々な面で活性化が進むことを願うばかり。▼8月の庁内人事も完了し新体制での9月定例議会が9月6日に開会。多くの重要議案は、活発に審議され、27日に閉会した。▼高齢者福祉について、新村長の公約である特別養護老人ホーム「小規模特養」の建設に向けた建設研究委員会が発足し、第2回目の建設研究委員会が実施された。現段階では、具体的な方向は決まっていな